

パーソルテンプスタッフ株式会社

ー再生医療を全方位サポートー

渡辺 恵郎

パーソルテンプスタッフ株式会社
研究開発事業本部
<Chall-edge by persol>

Keiro Watanabe
PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD
Research And Development Division
✉ keirouw@tempstaff.co.jp

はじめに

弊社は、1973年5月に設立した事務系処理サービス請負業テンプスタッフ株式会社を母体とする総合人材会社である。「雇用の創造 人々の成長 社会貢献」を掲げ、2000年に臨床開発部門、2001年には研究開発部門を立ち上げた。現在は両部門を統合し、研究開発事業本部(Chall-edge)として専門人材を取り扱っている。研究開発・臨床開発専門に特化した人材サービスとして、全国27拠点を設け北海道から九州までを対象エリアとしている。バイオ・メディカル・ケミストリー分野の基礎研究から臨床開発、製造スケールアップ、品質管理など技術開発に貢献する人材を取り揃え、あらゆる面から研究開発をサポートする体制を築いてきた。特に本稿では弊社の再生医療分野への取り組みについて、焦点を絞って取り上げる。

すでに再生医療分野の専門業務にあたる技術員が多数所属しており、研究開発を支えるあらゆる局面で不可欠な存在として高い評価を得ている。また、2015年からは不足する研究人材の育成にも積極的に投資している。一例として、培養テクニシャン養成コースでは90名を超える育成実績がある。さらに再生医療イノベーションフォーラム(FIRM)に参画、FIRM認定臨床培養技能者制度の設立に寄与した。

今回の投稿にあたり、再生医療に関連するインタビューを実施し、弊社の取り組みを紹介する。

再生医療企業からみた人材活用

はじめに、再生医療にかかわる事業者からみた業界と人材活用を紹介したい。以下に株式会社カネカ再生・細胞医療研究所の諸島 忠様にご協力いただき、事業者の考えと求める人材要件を明らかにした一例を示す。

「カネカでは、再生医療の社会実装に向けて、ヒト羊膜由来間葉系幹細胞の治療応用やiPS細胞/ES細胞の大量培養系の研究/開発に取り組んできた。カネカの使命は、一人でも多くの患者様に安心・安全な再生・細胞医療を送り届けることである。このためには、高い生産性と安価な医療を実現する確かな技術力と製造力が必要と考えている。基礎研究からGCTP省令に準じた製造現場まで広範囲にわたり多様な人材が不足するなか、有望人材のスキル目的だけにとどまらず、固定費の観点からも一部外部人材を活用させていただいている。カネカが考える再生医療を担う人材に求められる資質としては、再生医療に真摯に向き合う姿勢がなにより大切と考えている。製造現場では汚染やクロスコンタミのリスクをいかに防ぐかが大きな課題であり、一旦発生してしまうと単なる操作上のミスでは済まされない。このため教育を含めたシステムで管理・運用することが必須となるが、加えてスキルと異なり教育では修得しがたいものがモラルであり、我々が求める人材の基本である。また、場合によっては規制当局の厳格な査察にも個々人で対応してもらわ